

調查票

「技術力の向上と人材開発に関する調査」

御協力のお願い

事業所総務部長 殿

拝啓 時下益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、技術革新の進展、経済の過密化、国際競争の激化など、企業をとりまく内外の環境条件が急変する中で、企業の技術力の向上と地域の均衡ある発展、およびそれを支える人材開発は、産業界のみならず国にとっても重要な政策課題となって参りました。

このため、当職業訓練研究センターでは、このたび、労働省職業訓練局の要請に基づき、技術革新時代、地域開発時代に対応した国の能力開発政策推進の基礎資料とするため、「技術力の向上と人材開発に関する調査」を行うことといたしました。

御多忙中のところ御迷惑をおかけして大変恐縮に存じますが、どうぞ御協力くださいますようお願い申し上げます。

この調査の対象は、全国の規模30人以上の製造業に属する事業所の中からくじ引きのような方法で約5000所を抽出しましたところ貴事業所が選ばれましたので御了承ください。

この調査では、企業の技術力が中心的テーマとなっておりますので、貴事業所の生産技術担当部が中心になり、人事・勤労部の御協力を得て御記入いただきますようお手配くだされば幸いです。

本日、持参いたしました調査票は、4、5日後、同じ調査員が回収にお伺いすることとしておりますので、(月 日)までに御記入いただき、訪問調査員にお渡しくださいますよう重ねてお願い申し上げます。

おって、この調査は、当職業訓練研究センターが企画・実施するものであり

ますが、調査票の配付・回収の業務を社団法人輿論科学協会に委託しております。同協会は、昭和21年に発足して以来、多くの官公庁から年々各種調査を受託実施している伝統のある公益法人の調査機関であり、調査上知り得た秘密保持には特に留意することとしておりますので念のため申し添えます。

それでは何分よろしくお願ひいたします。時節柄、くれぐれも御自愛のほどお祈り申し上げます。

敬 具

昭和59年3月

雇用促進事業団 職業訓練研究センター

(労働省所管)

〒229 神奈川県相模原市相原1960

(電話 0427-61-9911)

調査担当 基礎研究部長 泉

追記

本調査の調査票の内容についてのお問い合わせは、上記の職業訓練研究センターへ、それ以外のお問い合わせ、御連絡は、下記の(社)輿論科学協会あてお願いします。

社団法人 輿論科学協会

〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目8-6

シルバービル

(電話 03-401-1131)

この調査は、統計以外の目的に用いることは決してありませんから、
ありのまま記入して下さるようお願いします。

技術力の向上と人材開発に関する調査票

昭和 59 年 3 月

雇用促進事業団 職業訓練研究センター

(労働省所管)

神奈川県相模原市相原 1,960

電話 0427-61-9911

※ この調査は事業所単位の調査です。本社、支店、営業所等がそれぞれ一つの事業所となります。同一会社が異なる場所で事業を営んでいる場合は、それぞれ異なる場所ごとに一つの事業所とします。

この調査票には、宛名の事業所のことだけを記入してください。

〈記入上の注意〉

- 記入は、あてはまる回答を一つ（特に指定のある場合は、その数）選びその番号を右端の□の中に記入してください。
- 質問文の下の〔〕、□の箇所には、文章又は数字で記入してください。
- ※印欄のある箇所には記入しないでください。

※ 1

8

13

支局	地點	対象	県	通留	本支	規	産業	事業所

I 貴事業所の名称等についておうかがいします。

貴事業所の名称	電話	—	—
連絡先御氏名及び所属			
御氏名	所属部署		

II 貴事業所の主な製品、販路についておうかがいします。

問1 貴事業所の主な製品の名称又は事業の概要をできるだけ具体的に記入してください。

[] 21※ []

問2A 貴事業所の主な生産形態は次のどれですか。

最も多い順に該当する番号を3つまで選んでください。

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| 1. 少品種多量生産 | 4. 少品種少量生産 | 最も多いもの [] |
| 2. 多品種多量生産 | 5. 研究、開発、試作 | 次に多いもの [] |
| 3. 多品種少量生産 | 6. その他 [] | 次に多いもの [] |

問2B 貴事業所の主な製品は次のどれですか。

あてはまる番号をいくつでも選んでください。

1. 完成品 2. 部品、原材料 3. その他

[] 27 [] []

問3 この5、6年の間に主な製品の構成に変化がありましたか。

30 []

1. あった [] 2. なかつた → 問4へ



問3A その原因は次のどれですか。主な番号を2つまで選んでください。

1. 新製品を自社で開発したので
2. 親企業から要請があったので
3. 市場の需用が変化したので
4. 付加価値の高い製品の比重を増やしたので
5. その他 []

31 [] []

問 4 貴事業所の製品の主な販路はつぎのどれですか。

該当する番号をいくつでも選んでください。

1. 特定の 1 社に納入している
2. 2 社以上のだいたいきまつた会社に納入している
3. 納入先は特定していない
4. 自社製品として販売している（販売地域は周辺地域のみ）
5. " (販売地域は全国にまたがる)
6. その他〔 〕

33

問 5 昭和 53 ~ 58 年の 5 年間に出荷額 (売上高) は増加しましたか。

減少しましたか。

1. 100 % 以上 (2 倍以上) 増加した
2. 75 % 以上 100 % 未満増加した
3. 50 % 以上 75 % "
4. 25 % 以上 50 % "
5. 0 % 以上 25 % "
6. 0 % 以上 25 % 未満減少した
7. 25 % 以上 50 % "
8. 50 % 以上減少した

36

--

■ 貴事業所の従業員数についておうかがいします。

問 6 貴事業所の昭和 59 年 3 月 1 日 (又はそれに近い日) 現在の従業員数 (臨時、パートタイマー、嘱託を含む。但し事業主、役員を除く。) は何人ですか。

37

従業員数

--	--	--	--	--

 人

問 7 従業員のうち事務職 (事務管理職を含む。) は何人ですか。

42

事務職員数

--	--	--	--

 人

問 8 従業員のうち技術者 (主に設計、開発等技術系業務に従事する人) は何人ですか。

46

技術者数

--	--	--	--

 人

50

*

9	9
---	---

問9 従業員のうち技能工等現業員（主に機械設備の操作・修理、材料の加工、製品の組立、監督等に従事する人）は何人ですか。

52

技能工等現業員数 人

問10 技術者、技能者は、不足していますか、余っていますか。

イ. 技術者 1. 適正である

2. 職種によって少し不足している

56

3. 職種によってかなり不足している

4. 余っている

ロ. 技能者 1. 適正である

2. 職種によって少し不足している

3. 職種によってかなり不足している

4. 余っている

問口A 不足している技能者の主な職種を3つまであげてください。

溶接工、金型工、染色工のように具体的に記入してください。



58
※

60
※

62
※

問11 貴事業所の本社、工場、営業所等を合わせた企業全体の従業員数は何人ですか。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 5,000人以上 | 4. 100～299人 |
| 2. 1,000～4,999人 | 5. 30～99人 |
| 3. 300～999人 | 6. 29人以下 |

64

IV 貴事業所の技術力に対するお考えについておうかがいします。

問12 最近、技術力を高めることが、重要だと一般にいわれていますが、貴事業所では、そのために何か意識的な努力をしていますか。

- | | | | |
|--------------|----------------|----|--------------------------|
| 1. 非常に努力している | 3. あまり努力していない | 65 | <input type="checkbox"/> |
| 2. まあ努力している | 4. ほとんど努力していない | | |
| 5. 何ともいえない | | | |

問13 技術力に関する項目のうち、貴事業所がいま最も関心をもっているものは次のどれですか。重要な順に3つまで選んでください。

- | | | | |
|------------------|---------------|----|--------------------------|
| 1. 先端技術の開発 | 8. コンピュータ利用技術 | 66 | <input type="checkbox"/> |
| 2. 先端技術の導入 | 9. 設備の整備保全技術 | | |
| 3. 工業デザインの開発 | 10. 生産管理技術 | 68 | <input type="checkbox"/> |
| 4. 工業デザインの導入 | 11. 品質管理技術 | | |
| 5. 新製品の開発 | 12. その他() | 70 | <input type="checkbox"/> |
| 6. 自動化設備の開発 | 13. その他() | | |
| 7. 自動化設備を使いこなす技術 | 14. 特にない | | |

問14 技術力を高めるため、必要な情報の入手経路について貴事業所がいま最も重視しているのは次のどれですか。重要な順に3つまで選んでください。

- | | | |
|-------------------|----|--------------------------|
| 1. 自社従業員が生み出す情報 | 72 | <input type="checkbox"/> |
| 2. 系列親企業 | | |
| 3. 設備メーカー、関連企業 | 74 | <input type="checkbox"/> |
| 4. 顧客 | | |
| 5. 公的機関(試験場、指導所等) | | |
| 6. 業界団体 | | |
| 7. 異業種交流研究会 | | |
| 8. 学会誌・専門誌 | | |
| 9. 特にない | | |

問15 貴事業所では、イ. 新製品開発、ロ. 機械設備開発を自ら実施していますか。イ. ロ. それぞれについてあてはまる番号を2つまで選んでください。

- | | | | |
|----------|---|----|--------------------------|
| イ. 新製品開発 | 1. この事業所で実施している | 75 | <input type="checkbox"/> |
| | 2. 他企業と共同で実施している | | <input type="checkbox"/> |
| | 3. 同じ企業又は企業グループの別の事業所で実施しているのでここでは実施していない | | <input type="checkbox"/> |
| | 4. 実施していない(3以外) | | <input type="checkbox"/> |
| ロ. 設備開発 | 1. この事業所で実施している | 77 | <input type="checkbox"/> |
| | 2. 他企業と共同で実施している | | <input type="checkbox"/> |
| | 3. 同じ企業又は企業グループの別の事業所で実施しているのでここでは実施していない | | <input type="checkbox"/> |
| | 4. 実施していない(3以外) | | <input type="checkbox"/> |

問16 貴事業所では、現場のことをよく知っている技能者がもつているノウハウを開発に生かしていますか。

- 79
- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 生かしている | <input type="checkbox"/> |
| 2. 生かしていない → 問18へ | <input type="checkbox"/> |
- ↓
- 問17 それはどのような形で生かしていますか。あてはまる番号をいくつでも選んでください。

- | | | |
|------------------------------|----|--------------------------|
| 1. 技術者と技能者がチームを組んで開発にあたる | 80 | <input type="checkbox"/> |
| 2. 生産設計(量産設計)の段階で技能者の意見をきく | | <input type="checkbox"/> |
| 3. 試作の段階で技能者の参加を求める | | <input type="checkbox"/> |
| 4. 隨時、提案制度等を通じて意見を吸い上げる | | <input type="checkbox"/> |
| 5. 技術者と技能者の区別に関係なく、開発に参加している | | <input type="checkbox"/> |
| 6. その他〔 〕 | | <input type="checkbox"/> |

問18 技術力の向上を図るため、貴事業所でいま最も人材確保の必要を感じている層は次のどれですか。重要な順に2つまで選んでください。

- | | | |
|-------------------|---------------|-------------------------------|
| 1. 開発担当技術者 | 5. 技術のわかる技能者 | 85 |
| 2. 生産管理・品質管理担当技術者 | 6. 専門分野の熟練技能者 | 最も重要 <input type="checkbox"/> |
| 3. 営業・サービス担当技術者 | 7. 技能系監督職 | |
| 4. 技術系管理職 | 8. その他〔
〕 | 86 |
| | 9. 特に感じていない | 次に重要 <input type="checkbox"/> |

問19 技術力の向上を図るため、貴事業所でいま最も能力開発の必要を感じている層は次のどれですか。重要な順に2つまで選んでください。

- | | | |
|-------------------|---------------|-------------------------------|
| 1. 経営者 | 6. 技術のわかる技能者 | 87 |
| 2. 開発担当技術者 | 7. 専門分野の熟練技能者 | 最も重要 <input type="checkbox"/> |
| 3. 生産管理・品質管理担当技術者 | 8. 技能系監督職 | |
| 4. 営業・サービス担当技術者 | 9. その他〔
〕 | 89 |
| 5. 技術系管理職 | 10. 特に感じていない | 次に重要 <input type="checkbox"/> |

問19A 技術力向上のための能力開発について、貴事業所内の教育訓練でやっていきそですか。

- | | |
|------------------|-----------------------------|
| 1. 充分やってゆけると思う。 | |
| 2. なんとかやってゆけると思う | |
| 3. かなり難しいと思う | |
| 4. 非常に難しいと思う | 91 <input type="checkbox"/> |
| 5. なんともいえない | |

問20 技術力向上のための能力開発について、教育訓練施設等公的機関に対して特に期待するものは次のどれですか。重要な順に3つまで選んでください。

- | | | |
|-------------------|------------------|-------------------------------|
| 1. 技術情報の提供、交流 | 6. コンピュータ利用技術の向上 | 92 <input type="checkbox"/> |
| 2. デザイン力の向上 | 7. 加工技術の向上 | 最も重要 <input type="checkbox"/> |
| 3. 技術に関する基礎的知識の向上 | 8. その他〔
〕 | |
| 4. 生産管理、品質管理能力の向上 | 9. 特にない | 次に重要 <input type="checkbox"/> |
| 5. メカトロニクス利用技術の向上 | | 次に重要 <input type="checkbox"/> |

問20A 技術力向上のための能力開発について、上の公的機関がもっと利用されるようにするため、そこでどのようなサービスを提供すればよいとお考えですか。施設運営上の注意点などなんでも結構ですから御意見をお聞かせください。

※ 1



V テクニシャンに関しておうかがいします。

問21 貴事業所では、技術者と技能者の中間にあって、幅広い技能と専門的、技術的知識の両方を有し、新製品の開発、機械設備の改善、品質管理、試験等の分野で、技術者と技能者の橋渡し、技術者の補佐等の仕事をしている技術的技能者（この調査では「テクニシャン」といいます）がいますか。

1. いる

2. いない → 問26へ

3

問22 貴事業所では、テクニシャンが主に従事している分野は、次のどれですか。あてはまる項目はいくつでも選んでください。

1. 研究開発
2. 生産管理、品質管理
3. 試験、検査、分析
4. 設備改善
5. 設備整備、保全
6. 製造ライン
7. 営業、サービス
8. その他 []

4

問23 貴事業所のテクニシャンの数は、現在およそ何人ですか。

11

--	--	--

人

問24 貴事業所のテクニシャンの現員数を、主な養成経路別に、下表に記入してください。はっきりつかめないときは、およその人員を記入してください。

		(人)		
イ	将来、技術者になる予定の者で、 技術見習いとして従事中の者	14		
ロ	新規学校卒業者（高校、高専、大学卒） からテクニシャンとして養成された者	17		
ハ	職長層でテクニシャンの役割を になっている者	20		
ニ	技能工のうちから優秀な者を テクニシャンに登用した者	23		
ホ	その他	26		

問25 貴事業所では、人事管理上、テクニシャンをどのように位置づけていますか。現在と5年後の想定と両方にお答えください。

1. 技術職として扱う
2. 技能職として扱う
3. 技術職、技能職いずれにもいる
4. テクニシャンとして独自に扱う
5. 何ともいえない

29
現 在

--

30
5年後

--

問26 貴事業所では、テクニシャンの数を今後増やすお考えがありますか。

1. 積極的に増やしたい
2. まあ増やしたい
3. 増やす考えはない → 問28へ
4. 何ともいえない

31

問27 貴事業所では、今後、テクニシャンを採用する場合もっとも欲しいのは次のどれですか。2つまで選んでください。

1. 大学卒
2. 工業高等専門学校卒
3. 工業短大卒
4. 専修学校卒
5. 工業高校卒
6. 普通高校卒
7. 職業訓練短期大学卒
(高卒者に短大レベルの技術・技能教育を行なう2年制の公共訓練施設)
8. その他

32

最も欲しい

33

次に欲しい

34

*	9	9
---	---	---

VII 貴事業所の監督者についておうかがいします。

問28 貴事業所では現在、監督者（技能工等現業員の指導・監督に従事するいわゆる役付）は、何人ですか。

36

監督者

--	--	--

 人

問29 貴事業所の監督者は、若いときから貴事業所で働いている人ですか。それとも他の企業から移ってきた人ですか。あてはまる項目をいくつでも選んで下さい。

1. 若いとき（25才くらいまでに入社した人）から貴事業所で働いてきた人
2. 親企業、関連企業から移ってきた人（出向している人を含む）
3. 親企業、関連企業以外の他の企業から移ってきた人
4. その他〔 〕

39

--	--	--	--

問29A 今後も監督者又はその要員として親企業又は関連企業から受け入れることになると思いますか。

1. 標的的に受け入れたい
2. 受け入れることになると思う
3. 受け入れることは考えていない
4. わからない

43

問30 貴事業所では、10年後の貴所の監督者の能力水準は、現在よりも高まっていると思いますか。それとも現状水準の維持が難しいと思いますか。（現在、監督者要員として育成している人の資質から判断してください。）

1. かなり高まっていると思う
2. まあ高まっていると思う
3. 現状維持だと思う
4. 現状維持はやや難しいと思う
5. 現状維持はかなり難しいと思う
6. 何ともいえない

44

問30A 今後の期待する監督者像として貴事業所が最も重視するイメージは、次のどれに近いですか。最も重視するものを順に2つまであげてください。

1. 技術的知識が豊かで技術者と十分対話ができる人
2. よい腕をもっていて部下に技能を伝承してゆける人
3. 品質管理、生産管理の面でリーダーシップを発揮できる人
4. 職場の不満をうまくさばける労務管理能力のある人
5. その他〔]

45

最も近い

46

次に近い

VII 貴事業所の立地、系列関係等についておうかがいします。

問31 貴事業所がいまの地に事業所を開設したのはいつでしたか。

1. 昭和19年以前
2. 昭和20～29年
3. 昭和30～39年
4. 昭和40～49年
5. 昭和50年以降

47

問31A いまの地に事業所を開設した理由は、次のどれにあたりますか。

1. 会社の新設、分離
2. もとからある会社の事業所（工場）の新設、分離
3. 事業所の移転
4. その他〔 〕

48

問32 貴事業所がいまの地を選定した理由は、次のどれですか。主な項目を2つまで選んでください。

1. 地価が安い
2. 労働力が得やすい
3. 交通が便利である
4. 水、電気が入手しやすい
5. 騒音、悪臭等を発生するので
6. 下請・関連企業が得やすい
7. 親企業に近い
8. 需用が見込める
9. 地方公共団体の誘致条件がよかつた
10. 地方公共団体から移転指導があった
11. その他

49

51

問33 貴事業所には、貴所が親会社となって部品、原材料を発注して
いる下請企業がありますか。

1. ある

2. ない → 問36へ

53

問34 地元下請企業の技術水準に何か問題を感じていますか。

1. 感じている

2. 感じていない → 問36へ

54

問35 どんな問題ですか。あてはまる項目はいくつでも選んでください。

1. 納期が遅れる

2. 精度、品質の信頼性が低い

3. デザインが悪い

4. コストが高い

5. その他〔
〕

55

問36 貴事業所には、貴所を下請会社として部品、原材料を発注して
いる親企業がありますか。

1. ある

2. ない → 問38へ

60

問37 親企業からの要請のうち最も神経を使うのは次のどれですか。
あてはまる項目をいくつでも選んでください。

1. 納期

2. 精度、品質の信頼性

3. デザイン

4. コスト

5. その他〔
〕

61

問38 貴事業所がこれから販路の拡大を図ってゆく上で、問題になりそうな項目は次のどれですか

1. 納期
2. 精度、品質の信頼性
3. デザイン
4. コスト
5. その他〔 〕

66

問39 貴事業所の昭和57、58両年の新規学校卒業者の採用状況についておうかがいします。次のイ、ロについて、各学歴別に「採用した」場合は1、「採用したかったができなかった」場合は2、「採用しなかった」場合は3の番号を記入してください。

1. 技術者要員として
1. 採用した
 2. 採用したかったができなかった
 3. 採用しなかった

- (イ) 地元の大学卒
(ロ) 地元外の大学卒
(ア) 地元の短大・高専卒
(ハ) 地元外の短大・高専卒
(ナ) 地元の工業高校卒
(ラ) 地元外の工業高校卒
(ト) その他
71

- ロ. 技能者要員として

- (イ) 地元の短大・高専以上卒
(ロ) 地元外の短大・高専以上卒
(ア) 地元の工業高校卒
(ハ) 地元外の工業高校卒
(ナ) 専修学校・各種学校卒
(ラ) 公共訓練校卒
(ト) その他
78

VII 自動化設備の導入状況とこれに関連したことについておうかがいします。

問40 貴事業所では、生産の自動化のため、エレクトロニクスを応用した自動制御機器（マイクロコンピュータ、シーケンス電子回路等）を組みこんだ自動化機械設備（以下、単に「自動化機械設備」といいます。）をこの5、6年間に導入しましたか。

(注)「自動化機械設備」には、材料・部品の自動加工・組立・検査・自動供給・搬送等のための機械設備、またはそれらを結合した装置等を含みます。

1. 導入している →問41へ
2. 導入したいができないでいる
3. 導入するかどうか検討している →問43へ
4. 導入について考えたことがない

85

86

問41 貴事業所で導入した自動化機械設備は次のどれですか。あてはまる番号をいくつでも選んでください。

	種類
1.	NC工作機、マシニングセンター プログラムの指令によって自動的に加工する工作機械
2.	トランスマシン 数台の専用機を加工順序に従って並べ、工作物を順次自動的に移動させることによって全加工を完了する専用機群
3.	産業用ロボット 人の上肢の運動機能に類似した自由度の高い運動機能によって加工、組立、搬送、検査、測定等の作業を自動的に処理する機械設備
4.	CAD・CAM コンピューターを使った自動設計、自動製造の機械設備
5.	その他[]

問42 貴事業所では自動化機械設備を導入したことに関連して困っていることがありますか。あればその主なものを3つまで選んでください。

1. プログラミングが難しい
2. メンテナンスが難しい
3. 期待していた精度が得られない
4. 段取りがえに手間がかかる
5. 生産能力に見合う需用が確保できない
6. これまで重要な役割を果たしていた熟練工の技能が生かせなくなった
7. その他〔 〕
8. 特にない

91

92

93

94

問43 貴事業所では、新技術に対する技能者の適応能力を高めるため、どのような方法を講じていますか。次のイ～チの各項目ごとに、

「実施している」場合は 1

「実施したいができないでいる」場合は 2

「実施していない」場合は 3

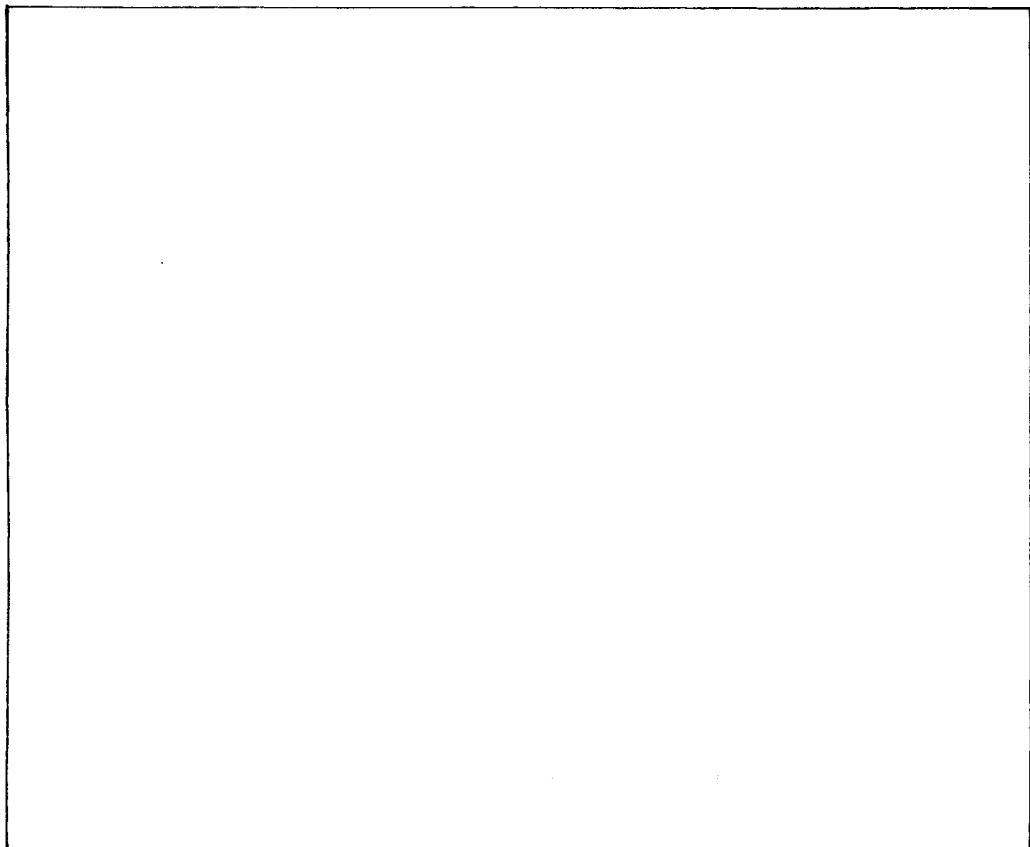
の番号を記入して下さい。

(1. 実施している
2. できないでいる
3. 非実施)

- イ 技能者要員の新規学校卒採用者に期間6ヶ月以上の集合教育を行う
(本社が一括して行う教育を含む)
- ロ 若年技能者の中から選抜して外部の教育訓練施設へ派遣して研修する
- ハ 若年技能者の中から選抜して関連企業へ派遣して研修する
- ニ 技能者の中から選抜して開発試作部門に回して技術的素養を高める
- ホ 若年のうちに計画的にいくつかの職場を経験させる
- ヘ 監督者の技術力を高めるため部内、又は外部の研修コースに参加させる
- ト 中高年者の適応能力を高めるため部内、又は外部の研修コースに参加させる
- チ その他
- 〔 〕
- 〕
- *

101

問44 本調査について御意見があれば何でも結構ですから御記入ください。



御多忙中のところ、長時間にわたり御協力いただき大変ありがとうございました。